

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸内視鏡検査におけるプロポフォルを用いた鎮静法の安全性、有用性についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月1日から2017年12月31日に当院でプロポフォルによる鎮静法を用いて大腸内視鏡検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

内視鏡診療の中でも比較的長時間に及ぶ内視鏡治療では鎮静は鎮痛と共に不可欠ですが、さらに内視鏡検診が普及しつつある近年では通常の内視鏡検査でも鎮静の需要は高まっています。

当院では通常の大腸内視鏡検査でもプロポフォルを用いた鎮静を行っていますが、安全に、かつ有効な鎮静がなされているかを検討します。

2014年4月1日から2017年12月31日までの大腸内視鏡検査を施行した11,207例の中でプロポフォルを用いて検査を行った9,638例において鎮静導入量および使用総量(身長や体重,性別、年齢から換算)、循環動態および呼吸機能(血圧、脈拍、不整脈、酸素飽和濃度の低下)の変化および検査後の意識回復時間、検査における患者様の苦痛度について検討します。

研究期間

2018年2月20日から2020年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：プロポフォルの導入量および使用総量(身長や体重,性別、年齢から換算)、循環動態および呼吸機能(血圧、脈拍、不整脈、酸素飽和濃度の低下)の変化および検査後の回復時間、検査における患者様の苦痛度。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご

了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

所属：昭和大学江東豊洲病院消化器センター 氏名：田邊 万葉

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000